

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部自然環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	立田 理一郎
事業群名	③ 豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 子どもたちが多様な自然を体験できる場所や機会を提供するとともに、高齢者が自然とのふれあいを享受できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。また、増加する外国人利用客をはじめ、多様なニーズに対応した情報発信を行います。							(取組項目) i) 自然公園施設等の計画的整備の推進 ii) 人にやさしい施設への対応 iii) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 平成28年度、29年度は熊本地震(平成28年4月)の影響により利用者が減少したが、利用施設の再整備等を実施し地域の自然資源の活用を促進した結果、平成30年度は熊本地震発生前のレベルまで回復し、目標達成まであと僅かという状況である。
	自然公園利用者数		目標値①	14,512千人	14,608千人	14,704千人	14,800千人	14,896千人	14,896千人(R2)	
			実績値②	14,320千人(H26)	13,695千人	13,912千人	14,537千人		進捗状況	
		②/①(達成率)		94%	95%	98%			やや遅れ	

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業概要	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			平成30年度事業の成果等	中核事業		
				H29実績	H30実績	R元計画			うち一般財源	人件費(参考)	指標			主な目標	H29目標
1		西海国立公園リニューアル整備事業(公共)	H28-R元	27,174	68	4,023	西海国立公園の優れた自然を享受する公園利用者	自然環境整備交付金を活用し、西海国立公園内の重要な施設の再整備を行った。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)	3	2	66%	●事業の成果 ・老朽化が進んだ施設の再整備を行い、安全性及び利便性が向上した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・ユニバーサルデザインに配慮した再整備により、豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくりに寄与した。	○
				51,192	21	6,378					3	3	100%		
				23,249	117	5,581					2				
		自然環境課						成果指標	自然公園利用者数(千人)	14,608	13,912	95%			
										14,704	14,537	98%			
										14,800					
2	取組項目 i	自然公園計画検討費	—	141	141	2,012	県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	吉岐対馬国定公園において、利用計画の見直しの必要性について関係市と調整を行った。	活動指標	審議会(自然環境部会)回数(回)	数値目標なし	0	—	●事業の成果 ・すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施することにより、県内の自然公園の面積は県土の約18%を維持しており、生物の生息・生育の場として生物多様性の保全に寄与している。	
				178	178	1,993					数値目標なし	0	—		
				265	265	1,993					数値目標なし				
		自然環境課						成果指標	自然公園面積(ha)	74,091	74,091	100%			
										74,091	74,091	100%			
										74,091					

3	自然公園施設補修費	—	7,948	7,948	6,437	県内の優れた自然を享受する公園利用者	既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施した。	活動指標	施設修繕箇所数(箇所)	5	8	160%	●事業の成果 ・公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の予防に寄与した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・施設の安全性を確保することにより、豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくりに寄与した。
			26,673	6,973	6,378			5	11	220%			
			103,032	5,932	5,581			0	0	100%			
	自然環境課							成果指標	事故発生件数(件)	0	0	100%	
										0	0	100%	
										0			
4	自然公園維持管理費	—	6,706	6,706	7,644	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の保護管理、金泉寺山小屋の指定管理、県有施設敷にかかると国有林野借上料及び清掃活動負担金等。	活動指標	清掃活動箇所数(箇所)	5	5	100%	●事業の成果 ・適切な公園施設の利用に寄与した。
			6,245	6,245	7,175			5	5	100%			
			7,944	7,944	7,176			0	0	100%			
	自然環境課							成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%	
										0	0	100%	
										0			
5	雲仙公園維持管理費	—	25,015	7,181	9,655	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	雲仙国立公園内県有施設等の維持管理を実施した。	活動指標	雲仙公園内公衆便所清掃箇所数(箇所)	17	17	100%	●事業の成果 ・適切な雲仙公園施設の利用に寄与した。
			23,455	5,988	9,566			17	17	100%			
			24,686	7,241	9,658			0	0	100%			
	自然環境課							成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%	
										0			
6	宝原道路維持管理費	—	3,325	2,881	2,414	宝原道路利用者	公園車道宝原道路において、安全施設等の改修を行い利用車両の安全を図った。	活動指標	改修箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・公園車道宝原道路において、老朽化したガードケーブルの改修を行い利用車両の安全が図られた。
			2,975	2,667	1,993			1	1	100%			
			3,756	48	3,588			0	0	100%			
	自然環境課							成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%	
										0			
7	花のある街かどづくり事業費	—	4,654	4,654	3,621	道路沿線を通る観光客及び地域住民	美しい長崎県づくり推進のために、長崎市の玄関口にあたる道路沿線に整備した緑地の維持管理を行った。	活動指標	緑地箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・年間を通じ、適切な道路沿線緑地の維持管理業務が図られた。
			536	536	1,594			1	1	100%			
			647	647	1,595			0	0	100%			
	自然環境課							成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%	
										0			
8	自然公園標識設置費	—	737	737	1,207	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の適正な保護管理と利用の増進を図るため、案内板・解説板・指導標等を設置した。	活動指標	自然公園標識設置数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・自然公園施設の利用増進を図るため、園地入口部に案内標識を設置した。
			677	677	1,594			1	1	100%			
			31	31	1,595			14,608	13,912	95%			
	自然環境課							成果指標	自然公園利用者数(千人)	14,704	14,537	98%	
										14,800			

9	緑といきもの賑わい事業	H26-R2	10,382	0	6,437	市町、NP O等民間団体	長崎県生物多様性保全戦略に基づいた各種保全対策を推進するため、従来の緑化事業に加え、保全地域等の保全事業や希少野生動植物の保護増殖等に民間団体等とともに取り組んだ。	活動指標	補助団体数(団体)	5	5	100%	●事業の成果 ・市街地における緑地が増加するとともに希少野生動植物の保全に貢献することができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・活動団体への支援により緑地や野生動植物の保全活動の活発化が図れ、豊かな自然とふれあえる、人と自然が共生する地域づくりが推進された。	○
			12,202	0	6,378				5	6	120%			
			10,143	23	6,378				6	6	100%			
			6	6	100%									
10	島原半島満喫プロジェクト推進事業	(H30 終了) H29-30	3,507	1,754	5,230	島原半島の優れた自然を享受する利用者	国立公園「雲仙」やユネスコ世界ジオパーク等の島原半島が有する豊かな自然観光資源を活用し、関係機関と連携を図りながら、インバウンド対策等を進め、島原半島地域の活性化を図った。	活動指標	H29:協議会開催数(回)	2	3	150%	●事業の成果 ・地元でプレミアムナイト等に取り組んでいるメンバーを主体に先進地視察やアドバイザーを招聘しての研修会を実施し、コンテンツを企画。今後内容をブラッシュアップして観光協会等において商品化に繋げていく予定である。	
			3,938	1,969	6,776				H30:国立公園利活用に向けた研修会開催数(回)	2	2	100%		
									H29:国立公園ステップアッププログラムの策定	策定	策定	—		
									H30:国立公園利活用コンテンツの造成数(個)	1	1	100%		
	自然環境課													

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 自然公園施設等の計画的整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者が訪れた公園内において、自然環境の魅力を十分享受し、かつ快適で安全に利用できるよう、公園全体の基礎的な部分の視点に立った公園計画の検討、自然環境整備交付金等を活用した効果的・効率的な整備を行い、引き続き対象となる公園が有する豊かな自然環境とふれあえる公園施設づくりを確実に推進する。
ii) 人にやさしい施設への対応	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を行うとともに、公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。今後も計画的な維持管理を行うとともに、補修が発生した場合は早急な対応を行っていく必要がある。
iii) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> エコツーリズム等の持続可能な利用を推進するためのコンテンツを創出するとともに、地域資源の保全等に取り組む民間団体や市町等の多様な主体に対する補助を行っており、引き続き適切な事業への補助を行う必要がある。

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「—」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2	取組項目 i	自然公園計画検討費	—	—	国定公園・県立自然公園は、自然公園としての資質を維持するために保護と利用を計画的に実施する必要があり、今後も本事業を継続し定期的に区域内外の自然環境の変化や区域線の明確化、利用形態の変化等を検討していく必要がある。	現状維持
3		自然公園施設補修費	—	—	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全性が損なわれることがないよう、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持

4	取組 項目 ii	自然公園維持管理費	—	—	利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
5		雲仙公園維持管理費	—	—	雲仙公園利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
6		宝原道路維持管理費	—	—	宝原道路利用者の安全性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
7		花のある街かどづくり 事業費	—	—	緑豊かな美しい長崎県づくりを推進するため、今後も本事業を推進する必要がある。	現状維持
8		自然公園標識設置費	—	—	利用者の利便性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
9	取組 項目 iii	緑といきもの賑わい事 業	—	—	豊かな生活空間確保・地球温暖化防止のための緑化事業及び生物多様性の保全は今後益々重要な環境問題であり、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持

注：「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点